

横浜市小学校社会科研究会

4 学年部会

研修会記録

第 8 号

令和5年 2月 8日

横浜市小学校教育研究会

会長 徳江 武司

横浜市小学校社会科研究会

会長 加藤 和之

同 学年部長 金井 伸一

【提案日時】

1月 11日 (水)

【会 場】

横浜市立 平沼小学校

提案 岡崎 巨樹 先生 (菊名 小)

司会 板山 涼 先生 (中尾 小)

記録 金子 潤太郎 先生 (上寺尾小)

1 提案内容

佐々木実践 (「地域の伝統を守る相模人形芝居～下中座～」) の分析提案

2 提案者より

○視点①「主体的な学びを実現するための、予想と見通しを生かした単元づくり」では「学びの足あとシート」を活用していた。これにより学習のスタートでの問題意識に立ち戻って、学習方法を選択したり、ふり返ったりすることで、学びの質の向上へとつながった。

○視点②「社会的事象の意味等に迫るために、協働的な学びを大切にしたい授業づくり」では、子どもの発言を整理する場面があった。口伝と演技台本の2つに意見を分けながら類型化された板書をする中で本時目標に迫る子どもの姿が見られた。

○視点③授業前の子どものみとりを大切にしながら、資料提示につながる教師の意図的な指名が行われ、それが子どもの資料に対する意欲的な姿につながった。

○ノートのふり返りを読むと本時目標に到達できている子もいたが全員ではなかった。より本時目標に迫る(深める)ために以下のような考えを深める発問や問い返しが必要だったのではないかと感じた。

・みんなが言っている「伝統を守る」ってどういうこと?

・口伝も演技台本もどっちも使うことがなんで「伝統を守る」ことになるの?

3 協議会

○子どもの主体的な姿が見られ、「こんな授業をしたいな」という参観者からの意見があった。

○「『伝統を守る』ってどういうこと」という問い返しは学習を深める意味でもよいのではないかと感じた。

○学習目標が子どもに落ちづらい内容でもあり、そこは難しいと思った。

○「伝統」という言葉をどのように認識するのか、子どもにどんな風に捉えさせるのか

をよりはっきりできればよかった。

- 予想ででた意見を生かしながら、根拠をもって「～だから伝統がつながる」という意見がでるとよかった。
- 教材にもよるが、伝統は時代とともに見つめ直され深められていくものであるので、そういった視点があってもよかった。

<講師の先生より> 洋光台第一小学校 中村 智 校長先生

- この単元はどこも教材開発中の単元なので、こういった提案をぜひ広めていけるとよい。
- 学習問題が、初めの提案のときから当日にかけて変わっている。学習問題は何度も吟味しながらより自分ごとになるよう考えていくとよい。
- ノート指導における問い返しはとても大切な点なので、まさに提案通りなので、今後考えていくことができるとよい。

文責 山口 暁風 (小田小学校)